

常瀧寺の大イチョウの樹勢回復治療について

一般社団法人日本樹木医会 会員番 224 号

兵庫県みどりのヘリテージマネージャ会

宮田 和男

常瀧寺の大イチョウは、推測ですが周囲の植生は、昭和 30 年頃までは薪炭材の供給林として広葉樹の短伐期林として、貴重な山で地元の人々は山と一緒に暮らし、その恵みを生活の糧に生活されていたのでしょ、それから昭和 30 年代からスギ・ヒノキの植林はこの地でも盛んにおこなわれ、イチョウ周囲はスギ・ヒノキを植栽し今日の山林の姿を築いた。

その昔里からの眺めで四季折々の色をなす大イチョウが見られたが今はスギヒノキの植林の中に埋もれて見えないのと 80 過ぎの老人の話でした。

常瀧寺のイチョウは、ふもとから林道がついていますが歩いて約 30 分～40 分標高 410 m のところにあります。

案内板によれば、常瀧寺の古寺跡が、イチョウの地にあり、天正 5 年（1577 年・440 年前）の兵火にあった。

この大イチョウは、養老年間（720 年頃）法道仙人が開基の際に手植えになったと伝えられている。約 1300 年の間、この青垣の厳しい自然環境・標高 410 m の風雪に耐えて生き延びた姿が今の樹形となったと思います。

そして今植林されたスギによって周囲を保護されて生育してきましたが、そのスギの樹高が 25 m を越す大きさとなり、イチョウを圧迫するようになり、太陽の光が遮断され力強い枝葉が生産出来なくなりっています。

樹木が生育する 3 大要素は、太陽・水・土壌です。そこで枝が折れても自分の力で治癒してきた大イチョウですが、太陽不足はどうすることも出来ません。

急激な解放はイチョウにとってマイナスです、今回 27 本のスギを伐採してイチョウに陽光をもたらし、横枝を増やし、樹に力を付けることがこのイチョウの樹勢回復治療と考えますし、イチョウからも光を求める声が聞き取れます。

伐採木については、現地にピンクのテープの印し、樹木番号を付けています。

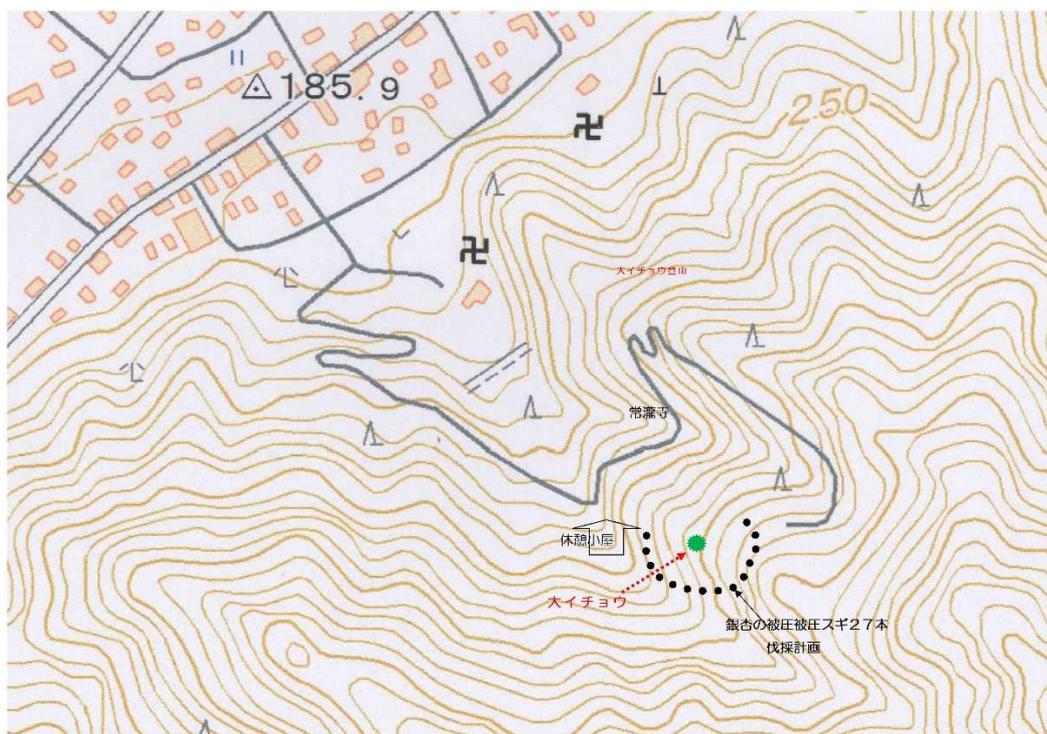
尚伐採作業は、乱雑に置くのではなく伐採後短く玉切りして整理し、イチョウを見学に来た人々に不愉快な印象のないような作業と周囲の切り株を 1 m 位の高さに残し、トラロープ等で立ち入り禁止にする。

また今回の伐採木の選定には、イチョウに受光を第一に選定しましたが同時に 1300 年生きて大イチョウの姿が遠望出来、この老いて歴史を重ねて生きてきたイチョウから現地でパワーを感じられるように可能な限り今まで生きてきた樹木の自然遺産の宝を見られるように配慮しました、今後風雪等の自然災害が起き、イチョウが痛み病むと思われませんが今まで生きてきたパワーがあります、変に我々が手を入れて樹の思いと別のことをした事例を見してきました。

今後は周囲の杉林の間伐等して植生豊かな山に導く事が山林の災害を防止すると同時にイチョウも豊かに暮らせる事になると思います。

人が作った環境を壊すことなく調和のとれた山林にして、水の豊・土壌の肥沃地・太陽光線を均等にしてモヤシ林をなくすることが大切です。

今回の作業を数年後に見直し検討することが大切です。



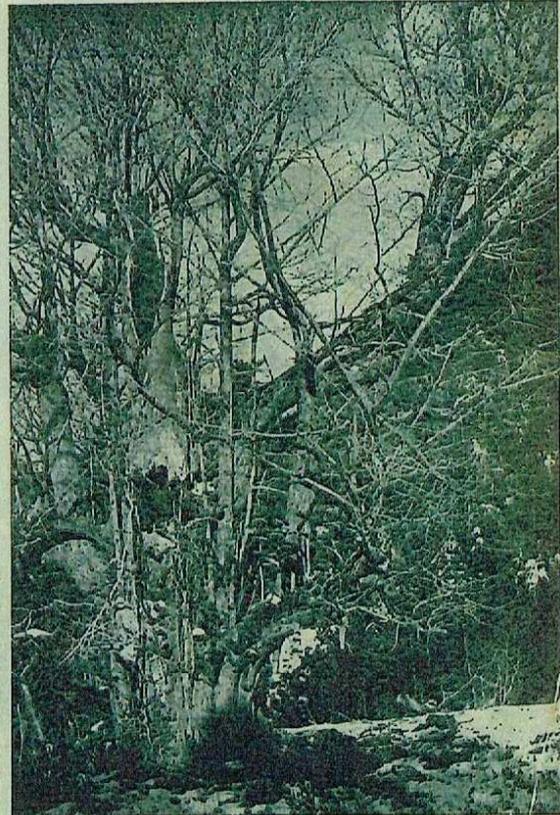
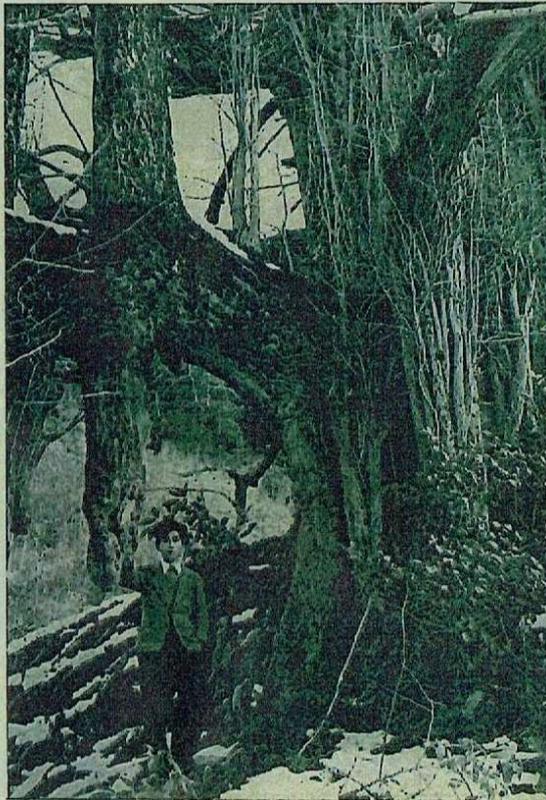
伐採予定木

NO	スギ番号	胸高直径 cm	備考
1	891	37	
2	892	44	
3	893	38	
4	894	40	
5	895	32	
6	896	34	
7	897	32	
8	898	36	
9	899	38	
10	900	23	
11	901	31	
12	902	28	
13	903	29	
14	904	29	
15	905	28	
16	906	19	
17	907	33	
18	908	22	
19	909	26	
20	910	21	
21	911	19	
22	912	33	
23	913	32	
24	914	32	
25	915	39	
26	916	29	
27	917	15	
	合計	819	
	平均	30	

伐採作業予定木と一昔前のイチョウ

本 柳

な ぎ
 詳
 2 米
 35 米
 紀郡日置村上宿
 大江山鬼退治に向
 、杖にしていた柳
 芽が出て成木した
 。



乳 の 木

樹 種	いちよう
樹 令	不 詳
所 在 地	氷上郡神楽村大名草 石光山常滝寺古跡

常滝寺は千数百年前、法道仙人の開基といわれ天正の頃、明智光秀のため兵して焼失、現在は古跡となつている。千古の銀杏は今尙鬱然として繁茂しているが樹型は当時の苦難を物語る如く奇状は言語に絶するものがある。古から乳少き婦人は当寺跡に参拝してこの樹皮を拝受して服用するときは乳多量となるといわれ遠近よりの参拝人が多い称して乳の木と呼ばれる。

天然記念物指定

兵庫の林業に創刊号の常瀧寺の大イチョウ



写真=2 2017年09月23日のイチョウ



写真=3 スギの樹冠に接触しているイチョウの枝



写真=4 イチョウの枝がスギの枝につつまれている。



写真=5 イチョウの方に傾いたスギ



写真=6 雄大なイチョウがスギで見えない。



写真=7 林に草木が1本もない



写真=8 雄大なイチョウがスギで見えない。



写真=9 乏しい林床



写真=10 唯一草ですがシカの食べない草。



写真=10 形は今流行の恐竜の形の乳頭と上に出た角。人が小さく見えます。



写真=1 1 伐採木にまいたテープ



写真=1 2 伐採木のテープ



写真=1 3 伐採木のテープ



写真=1 4 伐採木のテープ



写真=1 5 台風による枝の折損



写真=1 6 折損部の拡大



写真=1 7 台風による枝の折損部拡大